



(2) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点(◆評価)
導入	1. 前時に学習した内容を復習する。 ・本時に学習する内容を確認する。	○がんの発生経過や種類、一次予防と二次予防の大切さ、がんの治療法の種類について、改めて確認する。  ○がんとどのように共生するのかについて全員で考える時間にしたいことを伝える。
<b>目標：がんとどのように向き合うか、また、がん患者を支えるとは何かについて考えよう。</b>		
<b>発問1：あなたが「がん」の治療方針を決めるとしたら、なにを重視しますか？</b>		
展開	2. がん治療について考えることで、がんと向き合い方について考える。 ・治療方針を決定する際に、重視したいことについて考える。  3. がん患者について理解を深める。 ・がん治療と社会生活に関する配付資料を読む。	○治療方針や <b>がんと向き合い方</b> について、自分の考えに当てはまる箇所にチェックをつけるよう指示する。 ○考えた理由についてまとめるよう指示する。 ○「がんの種類や病状だけでなく、今後の生活や生き方を踏まえて、その人(自分)らしく生きられるように適切な思考・判断をし、がんと向き合うことが大切である」ことを説明する。  ○「自分がこのような状況になったら」と想定し、自分のこと、身近な人のことへと、考えをめぐらせるよう補足する。 ○身近な人にがん患者がいるなど、配慮が必要な生徒がいる場合は、活動の様子をや表情を観察する。
<b>発問2：あなたやあなたの身近な人が「がん」になったら、どのような支援が必要だと思いますか？</b>		
まとめ	・自分や身近な人ががんになったときの必要な支援について考える。 ・4～6人グループで意見を交換する。 ・グループで意見をまとめ、全体で発表する。	○ワークシートに考えたことを記入させる。 <b>◆【知識・理解】</b> がんの治療をしながら、日常生活を送る人が増えていること。また、そのような人たちが、働きやすい社会にするためには、がん患者への理解を深め、共に支え合うことが大切であることについて理解している。(記述や発言) ○「司会」と「記録」を決めておくように指示する。 ○グループで出た意見をまとめ、マジックでA3用紙に記入させる。黒板にセロハンテープで貼る。 ○「がん患者には、身体的・精神的・社会的に大きな負担がかかるため、本人だけではなく家族や同僚など、周囲の支援が不可欠なこと。社会全体で支えることが大切なこと」を説明する。
	4. 本時のまとめ、振り返りをする。 ・がんと向き合いながら、生きていくために必要なことをまとめる。 ・本時の感想を記入する。	○ワークシートに記入させる。 <b>◆【思考・判断・実践】</b> がん患者が働きやすい社会を築くための自分の行動を自己選択・自己決定している。 ○時間があれば何人かに聞いてみる。(学習カード・発言)